

第1学期のまとめと夏休みに向けて

校長 日野 英和

梅雨の長雨が続いています。この梅雨が明けると、いよいよ夏本番となります。この時期から特に心配なのが、水の事故や交通事故、熱中症や感染症です。神拝小校区内には加茂川や多くの用水路、アクアトピア水系の河川、交通量の多い幹線道路があります。7月の学校では、第1学期の学習のまとめとともに、事故等のない夏休みが過ごせるよう、校外生活の仕方について重点的に指導を行っていきます。ご家庭におかれましても、帰宅後や休日等の児童の遊び方にご留意いただき、気になることはしっかりご指導いただくとともに、必要であれば学校へもご連絡いただければと思います。

また、児童が通行している通学路は、国道や産業道路にもつながっているため、朝夕は特に交通量が多く、往来する車にひやひやすることもあります。西条警察署や交通安全協会、防犯協会や学校安全ボランティア、PTAや各地区での旗当番の皆様など、多くの皆様のおかげで、大きな事故もなく登下校ができていることに大変感謝しています。今後も、児童の安全確保のため、引き続き見守り活動にご協力をお願いいたします。

なお、児童の送迎をされる際に、正門前の横断歩道付近に駐停車される車を時折見かけます。皆様もご存じのとおり、横断歩道付近や交差点付近への駐停車は、道路交通法違反となります。警察等からの指導においても、児童の安全確保や円滑な通行を求められています。送迎には給食室前駐車場を安全に留意しながらご利用いただきますようお願いいたします。

さて、第1学期を振り返ってみますと、多くの方々に感謝する毎日でした。暑さや雨の中でも元気に登校し、素敵な挨拶をしている多くの児童。保護者や地域の皆様による毎日の見守り活動。また、6月20日(土)には、PTAいずみ部の皆様を中心に、体育館横の樹木の伐採を行っていただき、とてもすっきりしました。ありがとうございました。このように、学校行事や活動へのご理解・ご協力等、多くの皆様に支えられ、見守られながら第1学期末を迎えようとしていること、校長として本当にありがたく思っています。

7月18日からは、夏休みです。今夏も熱中症や感染症、記録的な猛暑・豪雨が予想されるなど、引き続き自分の命は自分自身で守る行動が求められています。児童のみなさんは、長い夏休みを「当たり前な時間」として捉えるのではなく、家族や地域の方々との大切な「ありがたい(有り難い)時間」として過ごしてほしいと思います。そして、夏休みも「風の子 花の子 求める子」として計画的に過ごし、「おはようございます」の素敵な挨拶とともに、元気に登校してくる皆さんと会えることを楽しみに、9月1日、暑さに負けず正門で待っていますね。